

令和7年度使用
中学校、義務教育学校（後期課程）及び
岡山後楽館中学校教科用図書選定資料

岡山市教育委員会

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語）種目（国語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 話し合いの目的を捉えて相手が伝えたい内容を正確に聞き取ったり、文章の構成や展開、表現の工夫を捉えて内容を正確に読み取ったりする力に課題がある。
- ② 複数の情報を読んで、目的に応じて必要な情報を取り出したり関連付けたりして、自分の考えをもち、その根拠を明確にして伝えることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年「読むこと」の学習を通して身に付けた力を「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材で生かして取り組めるような構成になっている。また、根拠を吟味して、主張を論理的に組み立てる「書くこと」の教材が系統的に配列されている。 ○ 「情報と論理の学び」では、情報活用に関する内容が系統立てて構成されており、生徒が情報活用能力を段階的に着実に身に付けたことを生かし、後の「書く〈伝達〉」活動に取り組むことができるように構成されている。 ○ 資料が厳選されており、総ページ数が300ページ前後となっているため、持ち運びしやすく、扱いやすいように配慮されている。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域ごとのページにインデックスが付されていることで、生徒が学習のねらいを捉えやすくなっている。 	<p>1年 P. 118～133</p> <p>1年 P. 66～72 2年 P. 66～72 3年 P. 62～68</p> <p>全学年</p>
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の第一単元に「グループディスカッション」が配置されており、生徒が「話し合いのこつ」というキーワードで話し合い活動の枠組みを系統的に学習できるような構成となっている。 ○ 「生かそう」では、既習事項を生活や他教科で活用できるように、具体例が提示されていることで生徒が主体的・発展的に学習できるようになっている。 ○ 全学年に「情報に関係づける」が系統立てて配置されており、導入の漫画で生徒が課題を捉えた後に、文章を使うことで「情報の扱い方」の知識・技能の定着に向けた学習の充実が図られるように工夫されている。 	<p>1年 P. 36～39 2年 P. 38～41 3年 P. 46～49</p> <p>2年 P. 109</p> <p>1年 P. 145～157 2年 P. 145～160 3年 P. 149～160</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の最後に漢字の読みと書きの練習問題をバランスよく配列することで、習得しやすい工夫がなされている。 ○ 「話すこと・聞くこと」について、全学年で「導入」→「話す」→「聞く」→「話し合う」の順に教材が配列されており、「書くこと」も含め、学習指導要領の学習過程を踏まえた言語活動が展開されるように工夫されている。 ○ 「持続可能な未来を創るために」ではSDGsに関する課題を取り上げ、生徒が国際的視野に立って現代の多様な課題に向き合い、考えられるような内容構成となっている。 	<p>2年 P. 45</p> <p>1年 P. 22、51、 185、229</p> <p>3年 P. 222～231</p>

38 光 村	<p>○ 各単元末の「学びへの扉」では、目標から振り返りまでの学習過程が明示されていることで生徒が見通しをもって考えたり、表現したりできるようになっている。</p>	2年 P.108
	<p>○ 「情報×SDGs」では、生徒が情報を読み取って活用したり、情報を関連付けて考えを整理したりする力を身に付けられるように、具体例を提示することで活動に取り組めるような配慮がなされている。</p>	2年 P.76～81
	<p>○ 「ICT活用のヒント」では、学習のどの場面でICT機器を活用すれば効果的か示されているとともに、二次元コード一覧が掲載されている。</p>	全学年裏見返し

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語）種目（書写）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 漢字、仮名の字形を整えて、丁寧に文字を書こうとする意識が低い。
- ② 手書きの文字を書く機会が減っている現状もあり、日常生活で学習したことを生かしたり、相手や目的に応じて書いたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 「見つけよう」には、身の回りの文字の例示等、生徒が考えるための視点が示されており、自分の考えをもち、話し合い活動に取り組みやすくなるように工夫されている。</p> <p>○ 「生活に広げよう」では、具体的な場面や状況を取り上げ、書写で身に付けた力をどのように生かすかを生徒が考えることができるように配慮されている。</p> <p>○ 巻末資料の「書写活用ブック」に、様々な書式の具体例が紹介されており、生徒が書式に合った適切な書き方について考え、活用することができるようになっている。</p>	<p>P. 72～75</p> <p>P. 39～41 65～67</p> <p>書写活用ブック P. 10～11</p>
15 三 省 堂	<p>○ 「学力テスト問題」により、自己の学習の状況を把握した後に、生徒が自主的に補充的・発展的な学習に取り組めるように二次元コード一覧表が設けられている。</p> <p>○ 書き込みページが多く設けられているため、生徒が学習したことを振り返ることができるようになっており、他教科の学習や日常生活等でも活用できるように工夫されている。</p> <p>○ 本編・資料編の2部構成となっていることや、巻末折り込みページ「書き方を学ぼう一覧」で3年間の学習内容のポイントがまとめて掲載されていることから、生徒が効果的に学習に取り組むことができるようになっている。</p>	<p>P. 66、103～104</p> <p>P. 52～53</p> <p>P. 2～3 117～120</p>
17 教 出	<p>○ 「考えよう」では、生徒自身が課題について考え、話し合うための視点が示され、「生かそう」では、考えたことを適切に生かしていくことができる等、思考の流れに沿って取り組むことができるような学習展開となっている。</p> <p>○ 他教科の書く活動と連動した内容が取り入れられており、生徒が学習内容を実生活の場面に生かす視点をもって取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○ 「コラム」では、文字文化にまつわる様々な資料が取り上げられており、生徒が日本の日常生活と文字文化とのつながりの理解や興味の幅を広げる工夫がなされている。</p>	<p>P. 30～31 76～77</p> <p>P. 14～15 32～33</p> <p>P. 24～25 88～89</p>

<p>38 光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手書きのよさや、文字の使い分けについて、様々な表現方法を紹介したり、具体的な場面を設定したりすることで、考えを深めることができるように工夫されている。 ○ 別冊の硬筆練習帳である「書写ブック」を活用することで、授業で学んだ内容を生徒が確認することができ、補充的な学習に自主的に取り組むことができるようになっている。 ○ 「全国書き初め調べ隊」で、書き初めの由来について学習した後、生徒が書き初めに取り組む学習展開となっており、日本の伝統文化への理解が深められるようになっている。 	<p>P. 80～81 88～89 94～99</p> <p>別冊書写ブック P. 6～7</p> <p>P. 146～160</p>
-----------------------	---	---

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（地理的分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 複数の資料を活用して考えることができるようにすることや、社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたり、表現したりすることに課題がある。
- ② 地理に対して興味・関心が低く、主体的に学習に取り組むことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の読み取り方や扱い方など、学習を進める上で必要な基礎的・基本的な技能を身に付けるための「スキル・アップ」が豊富に設定されている。 ○ 「もっと知りたい」や「未来にアクセス」のコラムでは、生徒が学習内容を深めたり、今日的な課題について考えたりすることができるように工夫されている。 ○ 世界の州区分や日本の地方区分が色分けして示されており、理解がしやすくなっている。また、小学校の学習内容との関連が示されており、生徒が既習事項との系統を意識できるような内容構成となっている。 	<p>P. 15、25</p> <p>P. 23、123</p> <p>P. 11、31、34</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に関連したコラム「地理の窓」では、生徒が興味・関心を広げ、発展的な学習や自主的な学習に取り組めるような内容が示されている。 ○ 「地理にアプローチ」では小学校までの学習を振り返ったり、地図帳の使い方を確認したりできるようになっており、生徒が地図やグラフを進んで活用できるような構成となっている。 ○ 多種多様な資料・グラフ・地図が掲載されており、「地図を活用しよう②」の折り込みページには、宇宙からとらえた日本列島が示されていることで、生徒が俯瞰して日本列島を見ることができ、効果的に学習が進められるようになっている。 	<p>P. 9、15</p> <p>P. 2～3</p> <p>P. 128～129</p>
46 帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「技能をみがく」では、地理的分野の学習を進めていく上で求められる写真の読み取り方や地形図の使い方などの技能が 21 のテーマで取り上げられており、地理学習の基礎・基本の確実な定着につながる工夫がなされている。 ○ 地理的な見方・考え方を働かせて考えをまとめられるように、地図と事象を結び付けた資料を基に、章末の「学習を振り返ろう」で学んだことを振り返ることができるようになっている。 ○ 巻頭ページに、思考ツール例や活用方法が一覧にまとめられていることで、生徒が考えを整理する際に活用できるようになっている。また、各節末の「節の振り返り」では、学習内容を振り返り、まとめることで情報活用能力が身に付く工夫がなされている。 	<p>P. 27、130～133</p> <p>P. 174～175 180～181</p> <p>巻頭 9 P. 89～90</p>

116 日 文	○ 巻末の「まとめとふり返り」では、社会的な見方・考え方を働かせる問いが設定されており、段階的に学習内容を振り返ったり、整理したりすることで、生徒が既習事項を活用できるような展開となっている。	P. 184～185
	○ 各章の導入では、生徒の興味・関心を引き出す写真や資料が多数掲載されているとともに、「トライ」や「クイズ」が示されていることで、主体的に取り組めるように配慮されている。	P. 2～3 144～145
	○ 「節の問いを立てよう」では、生徒が気付いたことを出し合ったり、書き込んだりすることで、言語能力の育成が図られている。	P. 123、207

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（歴史的分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 身に付けた知識と資料から読み取ったことを関連付けて、社会的事象の意味や特色について考えたり、表現したりすることに課題がある。
- ② 歴史を学ぶ意義の理解が十分ではなく、主体的に学習に取り組みにくいという課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 「まとめの活動」では、生徒が様々な思考ツールを使いながら節の間いを解決した後に章のまとめを行う構成にし、段階的に知識や概念を整理することで基礎的・基本的な知識の定着を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○ 一単位時間分の見開きページに学習課題とともに「チェック」や「トライ」を設けることで、生徒が社会的な見方・考え方を意識するとともに、学習内容を整理しながら学習課題の解決に向けて思考・判断・表現を促す内容構成となっている。</p> <p>○ 「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域の歴史について、生徒たちが調査する様子や方法などが例示されており、生徒の言語能力や情報活用能力の育成が図られている。</p>	<p>P. 60～63 94～97</p> <p>P. 108～109</p> <p>P. 138～139</p>
17 教 出	<p>○ 「歴史の技」では、様々な資料の活用方法や手順が示されており、さらに二次元コードの動画でより詳しいポイントを見ることで、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。</p> <p>○ 見開きページごとに生徒の興味・関心を高める象徴的なタイトルが掲載されており、問題解決の見通しがもてるようになっている。また、「表現」に対話の視点が示されており、知識や技能の活用につながっている。</p> <p>○ 学習した内容について、「歴史を探ろう」や「歴史学習の終わりに」のコーナーを設定することで、現代的な諸課題、特にSDGsの視点から歴史的事象を捉え直し、自ら問題を発見し解決していく態度を育成するための内容が充実している。</p>	<p>P. 13、25</p> <p>P. 74～75</p> <p>P. 138～139 287～291</p>
46 帝 国	<p>○ 「タイムトラベル」では生徒が時代のイメージをイラストで視覚的に捉えられるようになっており、「次の場面を探してみよう！」を手掛かりに考えていくことで事前学習となり、基礎的・基本的な知識の定着が図れるようになっている。</p> <p>○ 「世界とのつながりを考えよう イラスト編・地図編」では、同時代の世界の出来事や文化を地図上に示すことで生徒が日本と世界とのつながりを実感し主体的に学びを深めることができるようになっている。</p> <p>○ 「アクティブ歴史」では、生徒が三つのステップで課題に取り組むことで他者と対話したり、自分の言葉で表現したりする力が付くような展開となっている。</p>	<p>P. 26～27</p> <p>P. 44～45 50～51</p> <p>P. 76～78</p>

81 山川	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の導入に日本と世界の年表が関連写真とともに掲載されており、生徒が歴史的なつながりを視覚的に捉えられるように工夫されている。 ○ 「地域からのアプローチ」では、地域の歴史や文化財に焦点を当てることで、生徒が日本の伝統文化を守り、受け継いでいこうとする態度を育てられるような内容となっている。 ○ 各章の「まとめ」のページでは、章のはじめに提示された課題について学んできたことを自分の言葉でまとめられるように、直接書き込むことができるスペースが十分に確保されている構成となっている。 	<p>P. 102～103</p> <p>P. 46～47 68～69</p> <p>P. 100～101 210～211</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の導入で「歴史的な見方・考え方」について解説されているとともに、一単位時間の授業ごとに学習課題が設定されており、どのような「見方・考え方」を働かせるのかが明記されていることで、生徒の思考の深まりを促すことにつながっている。 ○ 「歴史を掘り下げる」では、学習内容と関連したテーマでコラムと資料が掲載されており、生徒が発展的な学習に活用できるように工夫されている。 ○ 学習内容に対応した小年表が掲載されており、生徒が事象の時系列を整理して捉えることができるように配置されている。 	<p>P. 10、96</p> <p>P. 234～235</p> <p>P. 25</p>
225 自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章末の「時代の特徴を考えるページ」では、それぞれの問題についての生徒の意見が示されていることで、その意見を踏まえて自分の考えがもてるようになっており、生徒が様々な時代の特色について学びを深められるように工夫されている。 ○ 各章の「調べ学習のページ」では、今までの学びについて新たな課題をもって調べたり、調べたことをまとめたりするための豊富な事例が掲載されており、主体的に調べ、まとめようとする態度の育成につながるように工夫されている。 ○ 「もっと知りたいコラム」や「外の目から見た日本」という特設ページでは、和の文化や譲り合いの精神が古来の伝統であることや、近代における我が国の国際社会への取組が生徒の自国への誇りが高まるように紹介されている。 	<p>P. 147</p> <p>P. 64～65</p> <p>P. 40～41 248～249</p>
227 育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「歴史絵巻」では、その章で学習する時代に起こった出来事や活躍した人物などを年代順に掲載することで、生徒が小学校で得た知識や概念を確認した上で、中学校での学習に円滑に取り組めるように工夫されている。 ○ 「資料活用」では、掲載されている資料を生徒がさらに詳しく調べたり読み取ったりできるように工夫されていることで、情報活用能力を育成できるようになっている。 ○ 巻頭で各時代の文化財の美しさを紹介するとともに、「歴史ズームイン」で日本人の宗教観を紹介したり、「人物クローズアップ」では国際的に活躍した人物を紹介したりすることで、国際社会における日本の役割を考えることができるように工夫されている。 	<p>P. 24～25</p> <p>P. 229</p> <p>巻頭①～② P. 44、117</p>

229 学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページごとに本時で学ぶ内容を端的に象徴するタイトルと問いを掲載することで、生徒が学んだことを関連付けながら考えたり、判断したりしやすい内容となっている。 ○ 「歴史を体験する」にある「対話・討論にチャレンジ」では、歴史の題材を基に感じたこと、思ったことを表現し議論する活動を紹介することで、生徒の多面的・多角的な言語活動を促す内容構成となっている。 ○ 章の導入と見返しページに世界地図や日本地図が掲載されていることで、生徒が我が国と他国の歴史的なつながりに気付いたり、社会的事象を捉えたりできるように工夫されている。 	<p>P. 130～131</p> <p>P. 178～179</p> <p>P. 10～11 表裏見返し</p>
236 令 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章末では、導入で提示された課題に対応して、その時代の特色を「政治」「文化」「外交」「産業」でまとめる問題が設けられ、生徒が自主的に学習を振り返ることができるように工夫されている。 ○ 巻末で各時代の文化財や美術品の美しさを紹介するとともに、『古事記』にある神話から、我が国の成り立ちについての考え方が解説されている。また、コラム欄で米国オバマ大統領の広島訪問を詳しく紹介し、生徒が平和の尊さについて考えることができるように配慮されている。 ○ 重要語句や関連事項などの注釈が同じページの余白部分に掲載されており、生徒が語句の意味を確認できるように配慮されている。 	<p>P. 118、182</p> <p>P. 19～21 451～453 巻末</p> <p>P. 20～21</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（公民的分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 現代の政治、経済、国際関係等に対する関心が低く、それらの仕組みを理解するための知識が十分ではないという課題がある。
- ② 新聞、読み物、インターネット等の資料の中から必要な情報を見付け出し、そこから読み取ったことを基にして、多面的・多角的に考察し表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 各単位時間において、「学習課題」に対応する「チェック&トライ」が設定されているとともに、「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動で学びを深められるようにするなど、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 「スキル・アップ」では、身近で具体的な事例について生徒が説明したり、話し合ったりすることができるようになっている。さらに、二次元コードを読み取ることで、シミュレーションや演習問題に取り組みやすい展開となっている。</p> <p>○ 章ごとの「まとめの活動」では、段階的に「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」「探究課題を解決しよう」という構成になっており、生徒自身の言葉で課題の解決に取り組むことができる工夫が図られている。</p>	<p>P. 146～147</p> <p>P. 82～83</p> <p>P. 70～73</p>
17 教 出	<p>○ 「THINK!」では、図やグラフなどの多様な資料が掲載されており、生徒が問いをヒントに資料を読み取ったり、活用したりできるような構成となっている。</p> <p>○ 「TRY!」では、生徒の社会参画を促すことをねらいとした多様な活動が設定されているとともに、章末には学習の振り返りが段階的に位置付けられ、生徒が学んだことを将来に生かすことができるようになっている。</p> <p>○ 見開きページ右下に学習内容に関連したSDGs 17 の目標マークが示されており、生徒が学習を通して、自分たちにできることは何かを考えることができるように配慮されている。</p>	<p>P. 63</p> <p>P. 35～38</p> <p>P. 17</p>
46 帝 国	<p>○ 「学習の前に」では、見開きでイラストと問いが掲載されており、学習内容を俯瞰して捉えられるように工夫されており、生徒が何を学ぶのかを明確にすることができるようになっている。</p> <p>○ 第1部～第4部に「探究学習への準備」が設定されており、生徒が観点1と観点2に基づいて学習内容を振り返り、既習事項を活用して対話することで、表現する力を育むことができるような内容構成になっている。</p> <p>○ 「アクティブ公民」では、生徒が社会参画を疑似体験できるような課題が設定されており、実感をもって学習できるようにすることで自主的に課題を追究できるようになっている。</p>	<p>P. 30～31</p> <p>P. 72～73</p> <p>P. 144～145</p>

116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」とそれに関連する「見方・考え方」が示されており、生徒が学習内容の視点を明確にして学習課題の解決ができるように工夫されている。 ○ 「明日に向かって」では、社会参画を身近に捉えられるようなテーマが多数掲載されており、生徒が社会の一員として、主体的によりよい社会を構築していこうとする態度を育むことができるようになっている。 ○ 章末の「チャレンジ公民」では、他者と協働的に学習を進められるような学習展開となっているとともに、思考ツールにより、判断基準を可視化しながら、自分の意思を言語化できるように工夫されている。 	<p>P. 12～13</p> <p>P. 102～103</p> <p>P. 34～35</p>
225 自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アクティブに深めよう」では、学習内容に関連した複数の資料が掲載されていることで、生徒が比較しながら話し合ったり、考察したりできるようになっている。 ○ 随所に「ミニ知識」が掲載されており、生徒が国際社会の中での日本のあり方を考えることができるようになっている。また、巻頭ページには「ミニ知識」の一覧も掲載されていることで、学習内容の振り返りができるように工夫されている。 ○ 見開きで書き込むことができるスペースが十分確保されていることや文章量が精選されていることで、生徒が学習を効果的に進めることができるようになっている。 	<p>P. 94～95</p> <p>巻頭vii P. 3</p> <p>P. 160～161</p>
227 育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題」に対応した「確認」と「探究」が端的な言葉で示されており、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることができるようになっている。 ○ 学習内容を多面的・多角的に考える視点を提示する「学習を深めよう」や調査等を促す「やってみよう」を随所に設け、生徒が現代的な諸課題を自分事として捉え、判断し、活用していこうとする力を育むような内容となっている。 ○ 「政治のこれから」や「経済のこれから」では、思考を整理する方法として、「KJ法」や「ランキングシート」、「ポスターツアー」などを用い、生徒が多様な方法で考えをまとめ、表現する力が身に付くように工夫されている。 	<p>P. 44～45</p> <p>P. 165～167</p> <p>P. 114～115 168～169</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（地図）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 位置や分布、場所などの関係について、空間的な広がり地図上で捉えることに課題がある。
- ② 地形と気候、土地利用、交通、人口分布など複数の地図や資料を比較して、関係性や特徴を読み取ったり、多面的・多角的に考察し説明したりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	○ 世界の各州・日本の各地方の資料が数字だけでなくグラフでも掲載されており、生徒が資料を比較したり関連付けたりしながら考察することができるように工夫されている。また、各地方の地図とともに断面図が示されていることで、生徒が空間的に地形を捉えられるようになっている。	P. 40、73
	○ 地形と水系からその地域の歴史と治水について学べるように、地図内に書き込みがされており、生徒が考えを深められるようになっている。また、江戸時代と現在の「江戸・東京の鳥瞰図」が並載されており、生徒が比較することで、自分なりの課題を見付けられるように工夫されている。	P. 87～88 111～112
	○ 各地域の資料と主題図の掲載ページ上部には「B e e ' s e y e」が付されており、生徒の地図活用を促進し、学習活動の充実を図るような問いが設定されている。	P. 6、23～24
46 帝 国	○ ページごとに土地利用の凡例が示されており、地形図、高低、領土などの基本的な知識についても簡潔に掲載されている。また、地域ごとにイラスト入りの鳥瞰図が掲載されており、生徒が立体的に地形を読み取ることができるように工夫されている。	P. 2～7 29～30
	○ 「主題学習」のページでは、生活・文化、地形、気候、人口、資源、防災などのテーマに沿った資料が写真とともにまとめられており、生徒が課題を見付けたり、必要な資料を選んだりして、問題解決していく能力を身に付けることができるようになっている。	P. 19～22 155～174
	○ 有名な史跡や名勝が大きくイラストで示されているとともに、二次元コードを読み取ることで、昔の地図や街並みの様子を見ることができるようになっている。また、日本地図を別の視点から見ることで、生徒が他国との歴史的なつながりを捉えられるように工夫されている。	P. 109～114 35～36

岡山市教科用図書選定資料 教科（数学）種目（数学）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 問題文や図、表、グラフ等の複数の資料から必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。
 ② 問題解決に向け、情報を整理し、数学的な表現を用いて論理的に説明することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深い学びの実現のために、問題解決の過程が示されている側注や二次元コードが配置されており、生徒が自ら考え、対話を通して表現する力を育むことができるようになっている。 ○ 自主学習を促すページが設けられており、デジタルコンテンツの効果的な使用方法が示されていることで生徒の主体的な学びにつながるように工夫されている。 ○ 「深い学び」を扱うページでは、問題の最後に「大切にしたい見方・考え方を分かりやすく示し、問題解決に向けて必要な数学的な見方・考え方を生徒が捉えやすくなるように工夫されている。また、巻末の「数学の目でふり返ろう」では、生徒が既習事項を振り返るとともに各学年の学習とのつながりに気付けるような構成となっている。 	<p>2年 P. 173～174 3年 P. 63～65</p> <p>全学年 P. 2～3</p> <p>1年 P. 250～255 2年 P. 28 3年 P. 86</p>
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の導入に設定されている「考えよう」に取り組むことで、生徒が既習事項を整理して、新たな学習内容に活用できるように工夫されている。 ○ 「レポートを書こう」では、レポートを書く手順や項目が簡潔に示されており、学んだことから興味・関心をもったことをテーマに、生徒が主体的に調べてまとめることができるようになっている。 ○ データの活用では、様々な分野の実際のデータが多数取り上げられていることで、生徒が実社会におけるデータ活用の有用性や必要性を実感できるような内容となっている。 	<p>1年 P. 132～133</p> <p>1年 P. 99 3年 P. 100</p> <p>1年 P. 250 278～279 2年 P. 176～177</p>
11 学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふりかえり」では、小学校を含む前学年までの既習事項を確認できる側注や二次元コードが設けられており、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図るための工夫がなされている。 ○ 学習の終わりに「次の課題へ！」が設定されており、該当ページが示されていることで、生徒が主体的に予習へつなげることができる内容構成となっている。 ○ 節末の「確かめよう」で学習内容の定着を図った後、章末の「章を学んで」で、チェック項目や記述によって、生徒が自己評価を行うことで、学びの意欲を引き出す構成になっている。また、第1学年のページ数には、素因数分解が併記されており、一年間を通して意識できるような工夫がなされている。 	<p>1年 P. 39 2年 P. 135</p> <p>2年 P. 11 3年 P. 45</p> <p>1年 P. 66 2年 P. 32～33</p>

17 教出	<p>○ 章の入口の「学習する前に」で既習事項を確認し、章の出口で「学習のまとめ」に取り組むことで、生徒が学習のつながりを意識して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるようになっている。</p> <p>○ 各学年の「数学の広場」の中に「発展」が掲載されており、生徒が興味・関心をもって章の学習を深めることができ、さらに上学年の学習内容や実社会で活用される学習ができるような構成となっている。</p> <p>○ 各学年巻末には「学びのマップ」が掲載されており、前学年までの学習内容と該当学年の関連が分かりやすく図示されていることで、生徒が既習事項を振り返ることができるような構成となっている。</p>	<p>1年 P. 22、63 2年 P. 44、66</p> <p>1年 P. 234 2年 P. 27 3年 P. 68</p> <p>1年 P. 288～296 2年 P. 233～244</p>
61 啓林館	<p>○ 章末問題の「学びをたしかめよう」では、各設問にチェック欄が設けられており、生徒がその章の基本的な知識や技能の定着を自分自身で把握することで、確かな学びを身に付けられるようになっている。</p> <p>○ 各章の導入では、学習内容に関連する題材を基に「話しあおう」が設定されているとともに、問題を解く過程を説明する「説明しよう」が設定されていることで、生徒が対話的に学びを深めることができるような内容となっている。</p> <p>○ 「3段階のステップ方式」の課題が設けられており、身の回りの事象や数学的場面から三つのステップで考えていくことで、生徒の問題発見と解決する力を身に付けられるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 110～111 2年 P. 56～57</p> <p>1年 P. 12～13 2年 P. 118～119</p> <p>2年 P. 49～51 3年 P. 81～83</p>
104 数研	<p>○ 各単元で提示されているキャラクターの対話によって様々な考え方に触れることで、自らの考えがまとめやすいように工夫されている。また、対話形式によって多様な考え方や誤った考え方に触れることで、生徒が考えを深め、表現できるようになっている。</p> <p>○ 各単元のまとめの後に「学んだことを活用しよう」が適宜設定されており、生徒が問題解決の際に働かせた数学的な見方や考え方を使得、日常と関連した発展問題に取り組むことができるように構成されている。</p> <p>○ 各学年の裏見返しページには、見開きで「学びの自己評価」が掲載されており、生徒が自分の学びを振り返ることで、効果的に学習を進められるようになっている。</p>	<p>2年 P. 88～89 3年 P. 126</p> <p>2年 P. 42 3年 P. 44</p> <p>全学年裏見返し</p>
116 日文	<p>○ 各学年の巻末に「ふり返しシート」が配置されており、生徒がノートに貼って使用することで知識及び技能の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 「まちがえやすい問題」が例示されており、生徒が計算過程を見直したり、つまりポイントに気付いたりして、知識及び技能を活用することができるようになっている。</p> <p>○ 各学年の巻末に「対話シート」が配置されており、生徒が「学び合おう」の学習活動で自分の考えを整理したり、お互いに話し合ったりすることを通して、言語能力や課題解決能力を養えるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 297、303 2年 P. 245、249</p> <p>3年 P. 24</p> <p>3年 P. 36～37 283</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（理科）種目（理科）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 獲得した知識及び技能を活用して、日常生活や社会と関連させて、身近な自然の事物・現象を説明したり、表現したりすることに課題がある。
- ② 自ら自然の事物・現象から課題を設定し、実験・観察を通して、課題解決に向けた探究的な学習を進めることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 各章の最初に「問題発見」をすることから始まり、「調べ方を考えよう」等、探究の各過程で考える視点が丁寧に示されることで、生徒が主体的に探究できるように工夫されている。</p> <p>○ 単元末の「社会につながる科学」では、科学技術に関わる人々にスポットを当てた読み物やインタビューを紹介することで、生徒が学習内容を日常生活や伝統・文化に結び付けて考えるとともに自身のキャリアと結びつけられるようになっている。</p> <p>○ 自然現象等の写真が大きく分かりやすく掲載されており、実験や観察の一助となっている。また、全学年表紙のデザインが生徒の学習意欲を喚起する紙面構成となっている。</p>	<p>2年 P. 128～129</p> <p>2年 P. 165</p> <p>全学年表紙 1年 P. 48～49 2年 P. 94～95</p>
4 大 日 本	<p>○ 実験器具の操作手順が簡潔に示されているとともに、二次元コードの動画を見ることで基本操作を確認することができるようになっており、基本的な知識・技能の確実な定着が図られている。</p> <p>○ 日本の技術や文化、ものづくりに関する話題には、「日本を知る」マークを付けて生徒が意識できるようにし、学習した内容を伝統・文化と関連付けて考えられるように工夫されている。</p> <p>○ 単元の導入では、「これまでに学習したこと」が見開きで掲載されており、小学校の学習内容も含めた既習事項が例示されていることで、生徒が効果的に学習を進められるように工夫されている。また、B5判型の携帯しやすいサイズとなっている。</p>	<p>1年 P. 79</p> <p>1年 P. 71 2年 P. 229</p> <p>1年 P. 138～139 全学年</p>
11 学 図	<p>○ 各単元の最初に、関連する学習内容と「できるようになりたい目標」が三つの資質・能力で示されているので、生徒が目的をもって知識・技能の習得に向かえるようになっている。</p> <p>○ 巻頭の「理路整然 探究の進め方」では、探究的な学習の各過程での進め方や振り返りの仕方、レポートの書き方などが丁寧に示されており、生徒が主体的に探究を進められるように工夫されている。</p> <p>○ 実験活動ごとに、課題設定から考察までの流れが順序立てて、分かりやすく示されており、生徒が課題を解決する時のヒントとして活用できるように工夫されている。</p>	<p>3年 P. 65</p> <p>全学年 P. 4～5</p> <p>2年 P. 11～14</p>

17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「探究の進め方」が折り込みでコンパクトにまとめられており、そのページを開いて参考にしながら探究の各過程に取り組めるように工夫されている。 ○ 各領域の最初の探究では、探究の各過程が対話形式でイメージしやすくなっており、生徒が見通しをもって、対話的に学習を進められるように工夫されている。 ○ 学習内容が精選されており、全体的にシンプルな構成であるとともに、本文の文字が大きく掲載されていることで、重要語句が確認しやすくなっている。また、巻頭に「理科室のきまりと応急処置」があり、生徒が安全面に気を付けて実験や観察に取り組めるように工夫されている。 	<p>全学年 P. ④</p> <p>1 年 P. 75</p> <p>全学年 P. 2～3 3 年 P. 236</p>
61 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒がつまずきやすい箇所に「な・る・ほ・ど」のコーナーが設置され、つまずきが解消されるように工夫されている。また、章末の「R e v i e w ふり返ろう」では、基本的な用語や概念を中心に振り返ることで、知識の定着が確実に図れるような内容構成となっている。 ○ 自分の考えを書き込み、探究の流れをつかむことができる「探Qシート」と、実験・観察を通して得た知識や技能をもとに、説明・表現して学びを深めることができる「探Qラボ」が各領域に一つずつあり、各単元の学習内容をもとに生徒が主体的に取り組むことができるようになっている。 ○ 全学年同じ領域順序で掲載されているため、生徒自身が領域ごとの関連性を意識して学習しやすい構成になっている。また、巻頭に I C T の活用例が示されていることで、効果的に I C T を学習に取り入れられるように工夫されている。 	<p>3 年 P. 81</p> <p>全学年巻末</p> <p>全学年目次 全学年⑦～⑧</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽）種目（一般）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 知覚したことと感受したことを結び付けることに苦手意識があり、楽譜から作曲者の意図を読み取って、他者と一緒に表現を工夫することに課題がある。
- ② 音楽に関する知識や読譜力が十分ではなく、楽曲の構造を理解したり、音楽表現につないだりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
17 教 出	<p>○ 「Sing! Sing!」では、歌唱教材の一部分の楽譜とともに、身体の使い方や発音の工夫を段階的に行えるようなポイントが示されており、歌唱技能の確実な定着を図る工夫がなされている。</p> <p>○ 音楽を形づくっている要素が分かりやすく図にまとめられており、歌唱教材・鑑賞教材ともに生徒が音楽を形づくっている要素やその特徴の違いを比較し、表現の仕方を考えることを通して、曲想の違いを理解したり、表現したりできるように配慮されている。</p> <p>○ 「日本とアジアをつなぐ音」「日本とアジアの声によるさまざまな表現」「日本とアジアのこと」では、我が国とアジア地域の音楽が同じページに例示されていることで、生徒が音楽文化の共通性や固有性を考えられるようになっており、他国とのつながりを感じながら学びを深められるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 12～13</p> <p>1年 P. 16、62 2・3年上 P. 23 2・3年下 P. 19、52</p> <p>1年 P. 55 58～59 93</p>
27 教 芸	<p>○ 「学びのコンパス」では、「注目するポイント」として音楽を形づくっている要素を示すことで、自分の考えを整理しながら学習を進めることができるため、生徒が音楽の特徴を意識しながら、知覚したことと感受したことを歌詞の内容と結び付けたり、どのように歌いたいかという表現の工夫につなげたりすることができる。</p> <p>○ 全ての歌唱教材に二次元コードが配置されており、パート別やカラピアノの音源によって、補充的な学習や家庭での自主的な学習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○ 各教材名の横に「問いかけ」が分かりやすい言葉で明示されており、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことで、思いを他者に伝えたり、共感したりできるような内容となっている。</p>	<p>1年 P. 32～33 2・3年上 P. 22～23</p> <p>全学年各教材</p> <p>全学年各教材</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽）種目（器楽合奏）

【岡山市の子どもの課題】

- ① よりよい音楽を演奏したいという思いや意図をもつことや音楽表現の技能を高めようという意欲をもつことに課題がある。
- ② 音楽に関する知識や読譜力が十分ではなく、楽曲の構造を理解したり、音楽表現につないだりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
17 教 出	<p>○ 「表現の仕方を調べてみよう」では、吹く楽器と弾く楽器の音の出る仕組みや楽器のかまえ方、音色の特徴などに着目し、生徒がその共通点や相違点について考えることで、音楽的な見方・考え方を働かせて、学びを深めることができる構成となっている。</p> <p>○ 「+深めてみよう」では、リコーダーのトリルの吹き方や曲想に合った弦楽器の奏法など、発展的な学習内容が示され、今まで学んできたことを活用して、生徒自身が課題解決できるようになっている。</p> <p>○ 巻末にはギターコードの押さえ方が写真で掲載されており、生徒が基礎的・基本的な技能を段階的に習得しやすいような構成となっている。</p>	<p>P. 30、55</p> <p>P. 21、47</p> <p>P. 105～106</p>
27 教 芸	<p>○ 「〇〇してみよう」で基礎的な奏法に取り組んだ後に、その奏法を使った楽曲に取り組めるように構成され、段階的に技能を習得できるようになっている。また「Q&A」では、練習していく中で起こる疑問や困りごとに対する具体的なアドバイスを示すことで、基礎的・基本的な技術の定着が図られている。</p> <p>○ 「学びのコンパス」では、キャラクターの吹き出しをヒントに、生徒がパートの役割や音の重なり方について考えたことを演奏に生かす活動が設定されていることで、表現力を高められるように工夫されている。</p> <p>○ 和楽器の導入として、その楽器を用いた鑑賞曲が取り上げられている。また、奏者を紹介する二次元コードや伝統の枠を超えて活躍する和楽器が掲載されていることで、日本の伝統的な楽器についての理解につながるようになっている。</p>	<p>P. 18、21、37</p> <p>P. 55、85</p> <p>P. 34、56、70</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（美術）種目（美術）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 思いや意図をもって表現することに苦手意識があり、自分なりの思いや願い、考えを基に主題を生み出したり、発想や構想をしたりすることに課題がある。
- ② 美術に関する知識や技能の積み重ねが十分ではなく、既習事項を活用して、表現や鑑賞の活動に取り組みにくいという課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
9 開 隆 堂	○ 一つの題材に対して4ページを使っており、発想・構想の過程や表現技法、参考作品の紹介などが丁寧に示されていることで、生徒が見通しをもって表現や鑑賞に取り組めるようになっている。	2・3年 P.14～17
	○ 「つながるデザイン」ではインクルーシブについて取り上げられており、生徒が日々の生活の中にある福祉とデザインのつながりに気付いたり、鑑賞したりできるような内容構成になっている。	2・3年 P.80～81
	○ 表紙に加工を施すことで、生徒が質感を楽しむことができるとともに、作品への興味・関心をもてるように工夫されている。また、第1学年の導入ページでは、小学校の図画工作から中学校の美術へのつながりや身近な作品を掲載することで、意欲的に学習に取り組めるような構成になっている。	全学年表紙 1年P.2～9
38 光 村	○ 技能面に関する記述が随所に掲載されており、生徒が着想を得て、表現ができるように工夫されている。	1年P.25 2・3年P.72
	○ 日本の絵画を五つのキーワードで鑑賞できるようになっているとともに、和紙の風合いを捉えることができるように素材が工夫されていることで、生徒が日本の絵画のよさを味わえるようになっている。	1年P.27～42
	○ 描画材や技法をまとめた「美術1資料」が別冊になっており、表現と鑑賞の基礎・基本を一体的に学べるような内容構成になっている。	美術1資料
116 日 文	○ 「学びを支える資料」では、具体的な技法や用具が取り上げられているとともに、それらが活用できる題材のページ数や着目させたい造形的な視点が掲載されていることで、生徒の知識や技能の定着が図られている。	1年P.62～69 2・3年上 P.54～55
	○ 題材ごとに見開きページで「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が示されており、知識となる造形的な視点をもとに生徒が表現と鑑賞を一体的に捉えることで、思考力・判断力を育めるような内容となっている。	1年P.48～49 2・3年下 P.22～23
	○ 鑑賞作品のページに十分な余白が設定されていることで、解説文が読みやすくなっている。また、各学年の発達段階を踏まえて、絵や彫刻、デザイン工芸、鑑賞の題材がバランスよく配列され、系統性にも配慮されている。	1年P.5 2・3年下 P.30～31

【岡山市の子どもの課題】

- ① 学習したことを実生活や実社会に生かし、現在及び将来にわたって健康な生活を送ろうとする意欲をもちにくいという課題がある。
- ② 運動や健康に関する学習を通して、相手の考えを理解したり、自分の考えを伝えたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 健康や安全に関するスキルをまとめた「巻末スキルブック」が掲載されており、各単元で習得した知識から技能の確実な定着へとつながるように工夫されている。</p> <p>○ 学習内容に関連した「章末資料」とともに「学習のまとめ」が掲載されており、二次元コードを読み取ることで、生徒の補足的な学びを支える構成となっている。</p> <p>○ 「保健体育の学習方法」では、保健体育科での学びを生涯にわたって生かす観点で、生徒が自ら課題解決に向けて考える力を育成するための様々な活動例が掲載されている。</p>	<p>P. 177～194</p> <p>P. 24～26 86～88</p> <p>P. 10～11</p>
4 大 日 本	<p>○ 「学びを活かそう」では、学習したことを基に、生徒が実際の生活の場面で自分にできることを考えたり、話し合ったりできるように書き込む欄が設けられている。</p> <p>○ 学習活動の中心に「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」が設定されており生徒が問題発見・解決能力を身に付けられるような学習展開となっている。</p> <p>○ 見開きページを一単位時間分とし、左ページに本文、右ページに資料を配置した紙面構成となっており、生徒が学習を進めやすいように工夫されている。</p>	<p>P. 27、116</p> <p>P. 47、83、99</p> <p>P. 74～75</p>
50 大 修 館	<p>○ 各章末の「章のまとめ」には観点別に問題が掲載されており、生徒の基本的な知識の確実な定着を図ることができるとともに、該当ページが示されているので、容易に復習ができるようになっている。</p> <p>○ 「用語解説」では、学習した基本的用語の解説とページ数が掲載されており、生徒が既習事項を活用することができるように配置されている。</p> <p>○ 「課題をつかむ」「きょうの学習」「キーワード」「学習のまとめ」と学習活動の流れがわかりやすく設定されているとともに、二次元コードを読み取ることで、ワークシートを活用することができ、自分の考えを根拠とともに説明する力を育成できるようになっている。</p>	<p>P. 60～61</p> <p>P. 186～188</p> <p>P. 140～141</p>

224 学 研	○ 学びたいことや学んだことを文字だけではなく、絵や写真で表現することができるスペースが適宜配置されており、生徒が自分の考えなどを表現する方法を選択できるようになっている。	P. 15、43
	○ 「データで見る運動、食事、休養・睡眠」や各章導入の「保健体育と情報」では、グラフや資料が紹介されており、データから問題点を見いだしたり、解決したりできるようになっている。	P. 2～3 26～27
	○ 学習の導入ページには「ウォームアップ」が左上に配置されており、「エクササイズ」や「学びを生かす」と色を統一することで、生徒が内容を確認しやすい構成となっている。	P. 78～79 36～37

岡山市教科用図書選定資料 教科（技術・家庭）種目（技術分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図や回路図等に表現して試行錯誤しながら具体化していくことに課題がある。
- ② よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、既習事項を活用して、技術を改良、応用することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 編末資料「すごいぞ！技術」では、国内外の今日的課題が多数紹介されており、技術分野が課題解決に役立つことを生徒が実感できるようにすることで、主体的な学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「問題解決例」では、問題を見付けて課題を設定する流れがイメージしやすいように3コマ漫画が示されている。また、問題解決のプロセスを「ウェルビーイング」などの具体例とともに示し、生徒自らが問題解決に取り組めるように工夫されている。 ○ 学習指導要領解説に示された「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」の三要素に沿った章構成となっており、系統的に学習できるようになっている。 	<p>P. 86～87</p> <p>P. 184～185 232～237</p> <p>P. ③～1</p>
6 教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目ごとに、「めあて」と「キーワード」が示され、課題の発見から学び、振り返りまでをスモールステップで学習することで、知識及び技能の確実な定着を図ることができるように工夫されている。 ○ 各編に「問題を解決する流れを考えよう」が設定されており、四つのステップが大きくイラストで示されていることで、生徒が見通しをもって問題解決できるように工夫されている。 ○ 別冊の「スキルアシスト」が設けられており、製作に必要な基礎的な技能が掲載されていることで、生徒の実践力を高める手立てとなっている。 	<p>P. 120～123</p> <p>P. 36～37</p> <p>別冊</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編において、身に付ける内容について適切な図や表が多く用いられており、視覚的な学習支援があることで、生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることができるようになっている。 ○ 「既存の技術を調べようシート」では、生徒が調べたいことを決めて学習を進められるように工夫されている。また、「やってみよう」では、未来の技術について考察を促す話題が取り上げられており、技術への関心や問題意識をもてるように配慮されている。 ○ 各編の冒頭において、社会に貢献してきた技術の歴史や製品が取り上げられており、我が国の伝統・文化を尊重する態度を養うことができるようになっている。 	<p>P. 33</p> <p>P. 246～247 280～281</p> <p>P. 26～27</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（技術・家庭）種目（家庭分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 生活のデジタル化等の影響により生活体験が十分でなく、実生活と結び付けて知識や技能を正しく習得することに課題がある。
- ② 効率的で便利な生活を送る中で自分の生活に課題意識をもつことが少ないため、生活をよりよくしたいという意欲をもちにくいという課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 学習の導入にある「レッツスタート」に取り組むことで、生徒が小学校の学習や日常生活を想起しながら学習課題を考えることができ、基礎・基本の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 思考ツールを用いた話し合い活動やロールプレイング、疑似体験などの演習例が示されており、主体的に考えるとともに、意見を整理したり、考えを深め表現したりすることができるように工夫されている。また、学習内容に関連したデジタルコンテンツが配置されている。</p> <p>○ 「考えてみよう」では、住まいの中の地震対策を考える題材や自転車を購入するシミュレーションが、具体的な場面やイラストとともに示されており、生徒が課題を見付け、家庭での実践につなげられるように工夫されている。</p>	<p>P. 34、88</p> <p>P. 4～7</p> <p>P. 183、207</p>
6 教 図	<p>○ 「考えてみよう」「発表してみよう」「やってみよう」では、学んだことから自分の生活を振り返り、課題等について考えることができる具体的な演習が取り入れられており、生徒が自分の考えをもち、表現することができるように工夫されている。</p> <p>○ 各内容が「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」等で構成されており、生活の中から課題を見だし、学習したことをもとに解決につなげることができるように工夫されている。</p> <p>○ 口絵では、日本の年中行事と衣食を中心とした特徴や工夫の関わりが写真とともに示され、世界の衣食住の特徴のページと比較しながら生徒が郷土の伝統や文化について興味をもつことができるように工夫されている。</p>	<p>P. 17、77、161</p> <p>P. 174～175</p> <p>口絵 3～10</p>
9 開 隆 堂	<p>○ 「調理方法Q&A」では、「なぜ～なのか？」と問いかけることで生徒の興味や好奇心を引き出し、科学的な根拠に基づく確実な知識・技能の定着につながるように工夫されている。</p> <p>○ 「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「工夫してみよう」などのコーナーを設け、日常生活や既習事項を基に、自分で考えたり、体験したりする活動が具体的に示されており、考えを表現できるようになっている。</p> <p>○ 学習のまとめりに「学習のまとめ」や「発展」が設けられており、生徒が考えたことやこれから取り組んでみたいことなどを書くことで、主体的に学習に取り組めるような構成となっている。</p>	<p>P. 128～135</p> <p>P. 28、57、117、239</p> <p>P. 230～231</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（外国語）種目（英語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 語彙や基本的な表現の定着が不十分であるため、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、それぞれの技能において自信をもって取り組むことに課題がある。
- ② 自分の考えや意見を即興で表現したり、既習表現を活用して対話を継続したりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 「Practice」では、本文の内容と関わりのある内容について、学んだ文法事項を用いて話したり、書いたりする活動を通して、基礎的な表現の定着を図れるようになっている。また、第1学年巻末の「語順カード」を並べて、基本的な文構造を理解できるように工夫されている。</p> <p>○ 「Real Life English」では、実生活に即した場面が設定されており、生徒がコミュニケーションの必然性を感じながら、やり取りをしたり、書いたりすることができるような展開となっている。</p> <p>○ 「Stage Activity 3」では、ディスカッションやミニディベートで話すための手順や表現が例示されており、生徒が論理的に話す力の育成が図られている。</p>	<p>1年 P. 62、巻末 2年 P. 70 3年 P. 10</p> <p>1年 P. 79 2年 P. 57 3年 P. 59</p> <p>2年 P. 100～101 3年 P. 88～89</p>
9 開 隆 堂	<p>○ 「Scenes」では、漫画形式の対話の中に、新出表現が明示されていることで、生徒がコミュニケーションの目的や場面を捉えやすくなり、基礎的な知識及び技能の定着が図れるようになっている。</p> <p>○ 「Review & Retell」では、単元で学習した内容について、生徒が文章を再構築したり、追加の情報を加えたりすることで、自分の言葉で表現する力を高められるようになっている。</p> <p>○ 本文に関連した内容が写真やイラストとともに掲載されている「Coffee Break」やSDGsに対応した題材が各学年に設定されており、三年間の学習を通して、生徒が楽しみながら日本と他国の文化を理解したり、地球が抱える課題等についての見聞を広めたり、深めたりできるようになっている。</p>	<p>1年 P. 100 2年 P. 32 3年 P. 66</p> <p>1年 P. 116～117 2年 P. 14～15 3年 P. 86～87</p> <p>1年 P. 60、71～77 2年 P. 62～63 107～115 3年 P. 40～41 121～125</p>
15 三 省 堂	<p>○ 「Project」では、それまでの単元で学習した内容や表現を活用して取り組むことができる言語活動が設定されており、プロフィールを読んで旅行プランを提案するなど、領域を統合した言語活動を行うことができるようになっている。</p> <p>○ 「For Self-study」では、効果的な学習方法や苦手克服のポイントが示されており、生徒が自分に合った方法を選択して、学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○ 単元末の学習活動「Goal Activity」が単元はじめに示されており、単元を通して、一貫した目標に向かって段階的に言語活動に取り組めるように構成されている。また、学習者用デジタル教科書には、発音チェック機能が設定されており、モデル音声やアドバイスを受けながら生徒は聞き手に伝わる発音を身に付けることができるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 64～65 2年 P. 80～81 3年 P. 36～37</p> <p>1年 P. 61 2年 P. 86 3年 P. 82</p> <p>1年 P. 79、86～87 2年 P. 87、94～95 3年 P. 55、62～63 学習者用デジタル教科書</p>

17 教出	<p>○ 「Key Sentence」にある文法事項を獲得するために、「Tool Kit」、「Let's Listen」、「Think & Try!」で生徒が聞いたり書いたりする学習過程を通して、基礎の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 「Tips」では、技能を高める手立てが端的に示されており、「Let's Try!」で活用できるような構成となっている。</p> <p>○ 「Activity Plus」や「Think & Try!」では、各単元の学習に関連した例文が掲載されており、生徒が既習事項を生かして言語活動をするための参考とすることができるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 49 2年 P. 63 3年 P. 67</p> <p>1年 P. 58 2年 P. 95 3年 P. 21</p> <p>1年 P. 74 159～161 2年 P. 94 153～156 3年 P. 146～148</p>
38 光村	<p>○ 学習内容に関連した図やグラフが掲載されており、資料の読み取りを通して生徒が既習事項を活用できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 生徒にとって親近感がわくキャラクターが設定されており、三年間の学習を通してともに成長していけるようなストーリーとなっていることで、学習意欲を引き出す工夫がなされている。</p> <p>○ 帯教材の冊子「Let's Talk」や「英語の学び方ガイド」が全学年に掲載されており、生徒が日常的に活用できる会話表現や学習方法などがまとめられている。また、学習者用デジタル教科書では、英語の会話文にあったイラストを並び替えたり、写真を選択したりすることができるようになっている。</p>	<p>1年 P. 94 2年 P. 95 3年 P. 69</p> <p>1年 P. 64 2年 P. 96 3年 P. 101</p> <p>全学年とじ込み P. 1～8 1年 P. 145～153 2年 P. 137～145 3年 P. 129～137 学習者用デジタル教科書</p>
61 啓林館	<p>○ 「Focus on Form」では、学習内容が系統的に整理されており、生徒が基本的な文構造や文法を身に付けられるようになっている。</p> <p>○ 「Enjoy Chatting」では、各 Part の本文に関連する問いが設定されており、その問いに基づいたやり取りを通して、生徒の即興で伝え合う力の育成につながるよう工夫されている。</p> <p>○ 巻末には、「Listening Script」が掲載されており、聞くことの学習における理解度を確認しながら進められるよう工夫されている。また、学習者用デジタル教科書のツールバーにある「お道具箱」には、学習内容に関連したデジタルコンテンツがまとめて表示されている。</p>	<p>1年 P. 74～75 2年 P. 74 3年 P. 74～75</p> <p>1年 P. 26、46 2年 P. 24、98 3年 P. 34、82</p> <p>1年 P. 132 2年 P. 132～134 3年 P. 108～110 学習者用デジタル教科書</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（特別の教科 道徳）種目（道徳）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 道徳的価値についての理解を基に、自分自身の問題として主体的に考え、自分の考えを広げたり、深めたりしていくことに課題がある。
- ② 日常生活において、自分で判断して道徳的行為に結び付けたり、自分から他の人に関わろうとしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に「Plus」というコラムが設けられており、生徒が自分のこととして考えたり、友達と対話したりする態度を養うことができるようになっている。 ○ 各学年巻末に心情円が添付されており、生徒が言葉では表現しにくい心の葛藤や揺れを可視化できるように配慮されている。また、二次元コードを読み取ることでデジタル心情円も活用できるようになっている。 ○ 各学年に「道徳×SDGs」というユニットが付録として掲載されており、生徒が現代社会の課題や他教科との関連を意識して学習を進められるようになっている。 	<p>1年 P. 76 2年 P. 92 3年 P. 91</p> <p>巻末年目次</p> <p>1年 P. 175～189 2年 P. 183～193 3年 P. 181～192</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの道しるべ」では、三つの問いを通して、生徒が段階的に思考できるように工夫されており、道徳的価値への理解を深められるようになっている。 ○ 「やってみよう」では、役割演技や話し合いなどの体験的な活動を通して、生徒が主体的に教材での学びを広げたり、深めたりできるように工夫されている。 ○ 生徒が同世代の登場人物に共感できるような三部作が各学年に掲載されており、三年間を見通した内容構成となっている。 	<p>1年 P. 11 2年 P. 11 3年 P. 13</p> <p>1年 P. 63 2年 P. 137 3年 P. 107</p> <p>1年 P. 134～137 2年 P. 120～123 3年 P. 86～91</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の第二教材の後に、「道徳で大切にしたいこと」が設けられており、生徒が「自分に問う」「友達と問う」「生き方を問う」という三つの観点で考えることを通して、学びを深められるような内容となっている。 ○ 「見方を変えて」や「つなげよう」では、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができる問いや、学習内容と日常生活をつなげたり、考えを深めたりするための問いが設けられている。 ○ 目次に「ユニットのテーマ」が示されていることで、生徒が何を学ぶのかを捉えることができるようになっているとともに、系統的に学べるような配列となっている。 	<p>全学年 P. 15</p> <p>1年 P. 22 2年 P. 55 3年 P. 33</p> <p>全学年 P. 2～3</p>

116 日 文	<p>○ 「学びを深めよう」では、それぞれの学習過程の中で、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動例が適切に配置されている。また、活動をする上でのヒントになる資料や思考ツールなどが「学びを深めるヒント」で例示されている。</p> <p>○ 「視野を広げて」では、学習内容に関連したコラムが紹介されているとともに、二次元コードを読み取ることで動画視聴でき、生徒が自分の考えを広げたり、課題意識をもったりできるようになっている。</p> <p>○ 生徒が自分の学びの記録や振り返りを記したり、自分の思いを書き込んだりすることができるように、別冊「道徳ノート」が添付されている。</p>	<p>1年 P. 157 2年 P. 68～69 3年 P. 40～41</p> <p>1年 P. 110～111 2年 P. 80～81 3年 P. 158～159</p> <p>全学年</p>
224 学 研	<p>○ 「深めよう」では、学びの過程を具体的に示すことで、生徒が道徳的価値について、深く考えられるように工夫されている。</p> <p>○ 「クローズアップ」では、日本の伝統文化を広めようとする外国人や日本人の活動が紹介されており、生徒が我が国の伝統・文化に愛着をもったり、国際社会の平和と発展について広い視点で考えたりすることができる内容構成となっている。</p> <p>○ 各学年の巻末に「未来への扉」と「学びの記録」が掲載されており、生徒が学びを振り返ったり、将来の自分を思い描いたりできるように工夫されている。また、表見返しに、写真とともに著名人の言葉が掲載されており、道徳を学ぶ意義につながるように配慮されている。</p>	<p>全学年年 P. 13</p> <p>1年 P. 135 2年 P. 161 3年 P. 67</p> <p>1年 P. 180～187 2年 P. 184～191 3年 P. 188～195 表見返し</p>
232 あ か 図	<p>○ 吹き出しで中心場面を示すとともに、生徒が何について考えるのかが挙げられており、「自分との対話」とつなげることで主体的で深い学びができるような構成となっている。</p> <p>○ 「Thinking」のコラムでは、教材で学習した内容を深めたり、広げたりすることで、生徒の発展的な学習を促す構成となっている。</p> <p>○ 「マイ・プラス」では生徒が登場人物の気持ちを想像したり、自分だったらどうするかを考えたりするために、役割演技や話し合い活動が充実するように丁寧なステップを通した学習展開となっている。</p>	<p>1年 P. 27 2年 P. 15 3年 P. 37</p> <p>1年 P. 36～37 2年 P. 158～159 3年 P. 55</p> <p>1年 P. 92～93 2年 P. 94～95 3年 P. 12～13</p>
233 日 科	<p>○ 哲学的視点を含む教材が各学年に設定されており、生徒が人間としてどう生きるかを探究していくことができるように工夫されている。</p> <p>○ 巻末にある26枚の「ウェルビーイングカード」は、道徳の四つの内容項目と関連しており、自分の考えを深めたり、他者が選んだカードを見て対話したりすることで、多面的・多角的な見方ができるように工夫されている。</p> <p>○ 先人や著名人の生き方や考え方から、生徒が我が国や郷土への理解を深めたり、国際社会の平和や発展に寄与する態度を身に付けたりできるような人物教材が設けられている。</p>	<p>1年 P. 36～40 2年 P. 34～38 3年 P. 44～48</p> <p>全学年巻末</p> <p>1年 P. 116～120 2年 P. 121～125 3年 P. 34～39</p>